



# ひろしま 県議会 だより

HIROSHIMA  
Prefectural Assembly

発行／広島県議会  
編集／広島県議会広報委員会

## 広島県

年4回発行

### 第48号

平成29(2017)年7月

## 6月定例会

- ◆総額5億3,900万円の補正予算を可決
- ◆本会議における質問・答弁(2面)
- ◆常任委員会の動き(3面)
- ◆6つの特別委員会を設置(4面)

巻頭写真は平成28年度広島県高等学校写真展に出展された、県立三原高等学校 山根菜実さんの作品「自分」  
撮影場所：三原市すなみ海滨公園

### 六月 定例会の概要

## 補正予算など十七議案を可決、同意並びに承認

広島県議会は、六月定例会を六月十六日から二十七日までの十二日間の会期で開きました。

今回の定例会では、「平成二十九年一般会計補正予算」や「広島県税条例の一部を改正する条例」、「森林の整備・保全のための財源確保を求める意見書」などの議案について審議を行いました。

このうち、知事から議会に対してあつた諮問については棄却すべきであると、その他の十六議案については原案のとおり可決、同意並びに承認しました。

本会議においては、県政が直面する諸課題について、六人の議員が一般質問を行いました。また、各常任委員会においては、付託された議案などについて審査・調査を行いました。

最終日には、副議長選挙、常任委員会及び議会運営委員会委員の選任を行ったほか、六つの特別委員会を設置しました。

### 議決の状況

#### 平成二十九年補正予算

- 可決 一般会計 一件
- 企業会計 一件

#### 条例案

- 可決 広島県議会個人情報保護条例の一部を改正する条例、広島県税条例の一部を改正する条例など 八件

#### 人事案件

- 同意 広島県監査委員の選任の同意についてなど 三件

#### その他の議案

- 可決 控訴の提起についてなど 二件
- 承認

#### 諮問

退職手当支給制限処分に係る審査請求について(棄却すべきである)

#### 意見書案

- 可決 森林の整備・保全のための財源確保を求める意見書

各議案に対する議員の表決態度(賛否)は、ホームページで公表しています。

広島県議会 検索 → 本会議情報 → 議案等審議結果

### 議決された主な議案

#### 平成二十九年広島県補正予算

当初予算編成後の状況変化等を踏まえ、「欲張りなライフスタイル」の実現に向け、時機を逃さず対応するために、総額五億三千九百万円の補正予算を可決しました。

- 「ひろしまさとやま未来博(〇一七)の推進 三千八百万円
- 医療・介護サービスの提供体制の充実 一億七千二百万円
- 保育士のキャリアアップ支援 二千六百万円
- 広島空港の拠点性強化 三億七千万円
- 県立歴史博物館の展示機能の強化 一億三千七百万円
- イノベーション人材の育成・確保強化 二千万円

#### 広島県税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い関係規定を改正する条例改正案を可決しました。このうち、自動車取得税については、エコカー減税の対象範囲が見直され、平成三十一年三月末まで延長されることとなりました。

【エコカー減税とは】  
自動車の取得に対して課される税金である自動車取得税が、環境性能に優れた自動車を取得した場合に、減税される特例措置。

#### 6月定例会日程 (平成29年6月16日～6月27日)

6月16日	本会議 開会、提案理由説明など
6月19日	全員委員会 提案事項の説明など
6月21日～22日	本会議 一般質問など
6月23日	各常任委員会 付託議案の審査など
6月27日	本会議 委員長報告、議案の採決など、閉会

#### 〈新副議長紹介〉



第107代副議長 松岡宏道  
昭和30年5月12日生  
〈福山市選出〉5期



自民議連 小林秀矩 議員 (庄原市)

### 再選出馬に向けた決意について

**問** 知事就任以来、「挑戦と実現」をテーマに成果を志向した様々な取り組みが行われ、人口や経済の指標でも成果が表れており、今後四年間が重要な意味を持つ。ぜひ、三期目の知事選挙に臨んでいただきたいと思うが、決意を伺う。

**答** 「県民の県民による県民のための県政」を基本として、できるだけ多くの機会に県民の皆様のご意見を伺いながら、全力で県政の運営に取り組んできた。来たる秋の知事選挙に向け、引き続き、県民の皆様のご負担がいただけるのであれば、残された諸課題に果敢に挑んでいく決意を固めた。

### 減反政策終了後の本県米政策について

**問** 五十年近く続いた減反政策が平成三十一年度から廃止され、耕作放棄が加速的に起こると想定されるが、食の安全保障についての見解や県が国の代役を行うことは可能か伺う。

**答** 食の安全保障は、国の責務として「食料・農業・農村基本法」に基づき、不測の事態が生じた場合に必要の施策を講じることとしており、今回の見直しによる影響は直ちにはない。一方、生産者の高齢化などにより、不作付地の拡大が加速する懸念があることから、県としては、水田を最大限に活用する担い手対策と生産対策を進める必要があると考える。



民主県政会 宮政利 議員 (呉市)

### 核兵器廃絶に向けた地方自治体の役割について

**問** 核兵器廃絶に向けた、県・市それぞれの地方自治体の役割分担について、国際社会や県民へはどのように説明し、理解と協力を得ようとするのか、知事に伺う。

**答** 広島市は、被爆の実相を世界の多くの人々に伝えることを中心に核兵器廃絶を訴える取り組みを進めており、広島県は、核兵器廃絶と復興・平和構築に包括的に取り組むこととしている。その一方で、広島市の復興プロセス研究事業などを、県・市共同で実施している。

### ヘルプマークについて

**問** 県内の市町でもメキシコ選手団や関係者の事前キャンプを迎える準備を進めているが、ヘルプマークに一本化することで理念と実践の一層の普及啓発に取り組む絶好のタイミングと考えるが、所見を伺う。

**答** ヘルプマークについては、今後全国的な普及が見込まれるとともに、県内の障害者団体からも、導入希望の意見が寄せられている。このため、本県においても、「あいサポート運動」を推進する中で、ヘルプマークを導入し、市町や関係団体等と連携して、このマークの普及促進に取り組んでまいりたい。



公明党 尾熊良一 議員 (福山市)

### 子どもの貧困の対応に向けたネウボラの役割

**問** 妊娠から子育てまでワンストップで対応する「ひろしま版ネウボラ」では、子どもの貧困の早期発見や支援に向けて、各支援機関との連携体制構築などどのように取り組むのか。

**答** ネウボラでは、貧困や児童虐待などのリスクを早期に発見し、必要な支援を提供する体制を整えていくこととしている。具体的には、リスクが疑われる場合は個別支援プランを作成し、教育委員会や市町、医療機関等と連携の上、必要な支援に結びつける仕組みを構築していく。また、「こども食堂」や「学習支援」に取り組むNPO等との連携強化に取り組んでいく。

### 私立高等学校の無償化制度の導入について

**問** 大阪府では私立高校の無償化に取り組むことで希望や能力に応じて学校を選択できる機会を確保している。本県でも同様の制度を導入してはどうかと思うが、知事の所見を伺う。

**答** 高等教育も含めた教育の無償化については国で検討が進められており、就学支援金制度について検証等が行われている。一方、全国五自治体で中間所得世帯以上についても私立高校実質無償化が実施されており調査を進めている。今後、こうした国や他県の動向とともに、今年度実施する「子供の生活に関する実態調査」の結果等を踏まえ、支援のあり方について検討を進めていく。



自民会 平本徹 議員 (安芸郡)

### 乳幼児医療費の対象年齢の引き上げ

**問** 本来、小学校六年生までは全県一律に県がカバーすべきものであり、広島県はどこに住んでいても、同じ条件となるよう知事がリーダーシップをとるべきと考えるが、所見を伺う。

**答** 対象年齢の引き上げは、安定的かつ持続可能な制度であることを前提とした上で、福祉施策全体のバランスの中で受益と負担の公平性の観点や、今後の社会保障関係費全体の動向並びに本県の子育て施策全体の中で総合的に検討する必要があると考える。一方、この制度は本来、国の責任において提供されるべきものと考えており、引き続き、積極的に国に働きかける。

### 海田町の尾崎川における河川改修事業

**問** ひろしま川づくり実施計画二〇二六における整備区分は、完成でも部分完成でもない継続とされ、計画期間内の具体的な事業内容が示されていないが、これまでの取り組みと今後の計画及び見直しはどうか。

**答** 平成二十八年度は、排水機場の予備設計や用地調査などに取り組んだ。今年度は、詳細設計に必要な地質調査を実施するとともに、陸上自衛隊などとの調整を行う。また、水質浄化対策として、汚泥の除去などの環境改善に努めている。引き続き、計画的に河川改修事業を進めるとともに、適切な河川環境が保全されるよう維持管理を行う。



広志会 宮本新八 議員 (山県郡)

### 学校活性化地域協議会の設置と県教委の支援

**問** 活性化策の検討・実施期間としていた三年が経過した今年度、一学年一学級規模の高校においては、これまでと同様に学校活性化地域協議会を設置するのか。また県教育委員会は、今後どのように学校を支援していくのか。

**答** 今年度も、学校活性化地域協議会など関係者が学校の活性化について検討・協議を行う仕組みを整える。教育委員会としては、引き続き協議会に出席し、各学校が実施する生徒数を増やすための取り組みに加え、生徒にとって魅力のある取り組みや学校の特色を生かした教育活動が行われるよう支援していく。

### 中山間地域における建設事業の担い手確保

**問** 中山間地域において、業者数を維持しようとする場合、工事の箇所を増やすなどの工夫が必要ではないかと考えるが、地域における担い手である建設業者の受注機会の確保に関して、どのように取り組むのか。

**答** これまでの工事規模に応じた適切な地域要件の設定や、総合評価落札方式における地域の精通性の評価に加え、今年六月から地域の建設事業者の状況や工事内容を踏まえ、意欲ある事業者同士が共同体を組むことを条件に地域の大規模工事への挑戦機会を提供していくこととしており、引き続き入札契約制度の改善などに取り組む。



自民議連 窪田泰久 議員 (広島市南区)

### 県の進めるイノベーション創出

**問** イノベーション創出や創業を取り巻く諸条件は地域によって異なることを認識した上で、どう取り組もうと考えており、「キャンパス」の具体的な運営にどう落とし込まれているのか。

**答** 地域でイノベーションを生み出すには、より戦略的・誘導的な支援策が必要のため、多様な人材が出会い交流する場としてキャンパスを整備した。数多くのオンリーワン・ナンバーワンを持つ本県産業はイノベーションを実現する底力があり、この強みを生かしながら、キャンパスを核としてイノベーションが次々と生まれる環境の形成を目指し取り組む。

### 広島港湾計画の改訂

**問** これまでの地域経済や社会に対する港湾の役割を見直すべきとの指摘や、国における中長期的な港湾政策の検討を踏まえ、年度内を見据えた検討の方向性をどう考えているのか。

**答** 都市機能が背後に迫り臨海部に利用可能な土地が限られる広島港の特徴を踏まえ、大型クルーズ客船受け入れのための環境整備、臨海部における魅力的な空間形成による人流・賑わい機能の強化、コンテナ船などの大型化への対応、エネルギー拠点設備増強による物流・産業機能の強化など、人流・賑わいと物流・産業のバランス・調和を図って検討していく。

# 県政に関する質問から (本会議における質問・答弁)

紙面の都合上、1人2問掲載しています。その他の質問も、県議会ホームページの「インターネット中継」でご覧いただけます。

## 減反政策

**用語解説** 米の作りすぎによる値崩れを防ぐことを目的に、昭和40年代半ばから始まった米の生産量の調整を行うための国の農業施策。

## ヘルプマーク

**用語解説** 障害などにより援助や配慮を必要としている人が、身に付けることで周囲の人々に配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマーク。

## 私立高等学校の実質無償化

**用語解説** 多くの自治体で国の就学支援金制度に上乗せして授業料軽減措置が図られており、私立高校等の授業料や授業料以外の教育費負担が軽減されている。

## ひろしま川づくり実施計画2016

**用語解説** 県土の将来像を実現するための基本方針である「社会資本未来プラン」の河川部門の整備計画。計画期間は平成28年度から32年度までで、投資予定額は約360億円。

## 学校活性化地域協議会

**用語解説** 1学年1学級規模の全日制高等学校において学校の活性化を検討する協議会で、学校関係者、所在する市町及び市町教育委員会等で構成される。

## イノベーション・ハブ・ひろしま「キャンパス」

**用語解説** 新たなビジネスや地域づくりなどにチャレンジする多様な人が集まる新たな拠点として、今年3月、広島市中区紙屋町に開設。セミナースペースのほか、3Dプリンターなどもある。

# 新常任委員会の構成

6月27日  
選任

最終日の本会議において、委員長、副委員長及び委員が選任されました。

 委員 林 正夫 自民議連 〈広島市中区〉	 委員 砂原 克規 自民会 〈広島市西区〉	 委員 河井 案里 自民会 〈広島市安佐南区〉	 委員 岩下 智伸 民主県政会 〈安芸郡〉	 委員 鷹 廣 純 民主県政会 〈広島市安佐南区〉	 委員長 栗原 俊二 公明党 〈広島市安佐南区〉
 委員 犬童 英徳 民主県政会 〈呉市〉	 委員 児玉 浩 自民議連 〈安芸高田市〉	 委員 沖井 純 自民議連 〈江田島市〉	 委員 畑 石 頭 司 自民議連 〈広島市東区〉	 副委員長 三好 良治 自民議連 〈福山市〉	

(11人)

 委員 宇田 伸 自民議連 〈福山市〉	 委員 辻 恒 雄 共産 〈福山市〉	 委員 山下 智之 自民議連 〈廿日市市〉	 委員 尾 熊 良一 公明党 〈福山市〉	 委員 的 場 豊 民主県政会 〈福山市〉	 委員長 福 知 基 弘 民主県政会 〈広島市西区〉
 委員 松 浦 幸 男 自民会 〈尾道市〉	 委員 佐々木 弘司 自民議連 〈広島市安佐南区〉	 委員 山下 真 澄 民主県政会 〈福山市〉	 委員 伊 藤 真 由 美 自民議連 〈安芸郡〉	 副委員長 石 橋 林 太 郎 自民議連 〈広島市安佐南区〉	

(11人)

 委員 山 崎 正 博 自民議連 〈広島市安佐北区〉	 委員 宮 本 新 八 広志会 〈山県郡〉	 委員 小 林 秀 矩 自民議連 〈庄原市〉	 委員 石 津 正 啓 公明党 〈福山市〉	 委員長 内 田 務 民主県政会 〈福山市〉
 委員 檜 山 俊 宏 自民会 〈広島市安芸区〉	 委員 中 原 好 治 民主県政会 〈広島市南区〉	 委員 安 井 裕 典 自民議連 〈廿日市市〉	 委員 高 木 昭 夫 自民議連 〈東広島市〉	 副委員長 宮 崎 康 則 自民議連 〈広島市佐伯区〉

(10人)

 委員 山 木 靖 雄 自民議連 〈広島市西区〉	 委員 下 原 康 充 草莽の会 〈東広島市〉	 委員 高 山 博 州 自民議連 〈尾道市〉	 委員 西 村 克 典 民主県政会 〈広島市安芸区〉	 委員 平 本 徹 自民会 〈安芸郡〉	 委員長 大 島 昭 彦 自民議連 〈広島市東区〉
 委員 城 戸 常 太 広志会 〈呉市〉	 委員 宮 政 利 民主県政会 〈呉市〉	 委員 窪 田 泰 久 自民議連 〈広島市南区〉	 委員 下 西 幸 雄 自民議連 〈呉市〉	 副委員長 下 森 宏 昭 自民議連 〈三次市〉	

(11人)

 委員 富 永 健 三 自民議連 〈広島市佐伯区〉	 委員 日 下 美 香 公明党 〈広島市中区〉	 委員 森 川 家 忠 自民議連 〈竹原市・豊田郡〉	 委員 渡 辺 典 子 自民会 〈広島市安佐北区〉	 委員長 出 原 昌 直 自民議連 〈福山市〉
 委員 平 田 修 己 自民議連 〈三原市・世羅郡〉	 委員 東 保 幸 民主県政会 〈広島市安佐北区〉	 委員 緒 方 直 之 自民議連 〈広島市東区〉	 委員 桑 木 良 典 民主県政会 〈三原市・世羅郡〉	 副委員長 佐 藤 一 直 広志会 〈広島市中区〉

(10人)

 委員 奥 原 信 也 自民議連 〈呉市〉	 委員 中 本 隆 志 自民議連 〈広島市南区〉	 委員 田 川 寿 一 公明党 〈広島市西区〉	 委員 金 口 巖 民主県政会 〈尾道市〉	 委員 瀧 本 実 民主県政会 〈広島市佐伯区〉	 委員長 上 田 泰 弘 自民議連 〈三原市・世羅郡〉
 委員 岡 崎 哲 夫 草莽の会 〈府中市・神石郡〉	 委員 松 岡 宏 道 自民議連 〈福山市〉	 委員 井 原 修 広志会 〈東広島市〉	 委員 狭 戸 尾 浩 自民議連 〈大竹市〉	 副委員長 西 本 博 之 民主県政会 〈東広島市〉	

(11人)

# 常任委員会の動き

6月23日  
開催

## 総務委員会

付託議案の審査結果

補正予算一件、条例案四件  
その他の議決案件一件  
原案可決並びに承認(全会一致)

諮問一件

「棄却すべきである」(全会一致)

### 主な質疑事項

◆さくら未来博におけるシンボルプロジェクトである廃校リノベーションのノウハウや、クラウドファンディング方式による資金調達スキームを地域づくり関係者へ伝授することなどにより、今後の中山間地域のさらなる活性化に向け継続的な取り組みを実施されたいこと。

◆核兵器廃絶に向けた本県の取り組みについては、核兵器禁止条約の制定に向けて核兵器保有国と非保有国の溝が深まるなど、懸念される国際情勢を踏まえ、本県から核兵器保有国の指導者へ被爆地広島訪問を働きかけるなど、核兵器のない平和な世界の実現に向けた国際的機運の醸成に努められたいこと。

【その他】  
指定管理施設の利用料金制の効果  
が十分に発揮される運用のあり方

## 生活福祉保健委員会

付託議案の審査結果

補正予算一件、条例案二件  
原案可決(全会一致)

### 主な質疑事項

◆保育士キャリアアップ研修事業は、小規模な施設でも参加しやすい研修開催方法を検討するなど、適切に運用されたいこと。また、保育士が働きやすい環境の整備に向けた取り組みを強化する必要があること。

◆地域医療構想に基づく病床機能の転換・整備に当たっては、各圏域における病床機能のバランスに配慮するとともに、人材確保を含めた体制整備を進める必要があること。

◆広島がん高精度放射線治療センターの管理運営に係る利用料金制の導入に当たっては、指定管理者の経営努力が発揮されるよう検討するとともに、経営改善に向けて取り組みを強化していく必要があること。

【その他】  
児童虐待への適切な対応、県民文化センターの稼働率向上など

## 農林水産委員会

付託議案の審査結果

条例案一件  
原案可決(全会一致)

### 主な質疑事項

◆農地法等に基づく事務手続きの法定移譲に当たっては、指定市町として指定を受けた後も業務が円滑に進むよう、県として十分な支援をされたいこと。

◆担い手育成リソース支援事業については、農業従事者の高齢化の進行や平成三十年からの主食用米の生産調整の見直しを踏まえ、新規就業者の確保・育成に向け、JAと連携し積極的な活用を促す必要があること。

◆カワウによる漁業への経済的な被害は深刻な状況にあることから、繁殖抑制を積極的に行うとともに、ドローン等を活用した新技術についても国等とも連携して取り組みが必要があること。

【その他】  
鳥獣被害対策としてのジビエの活用など

## 建設委員会

付託議案の審査結果

補正予算一件  
原案可決(全会一致)

### 主な質疑事項

◆広島空港の運用時間延長を最大限活用し、広島空港の利便性向上につながる必要があること。また、接続する公共交通機関の運行についても、適切な対策をとる必要があること。なお、十月に就航予定のシンガポール線が継続的に運航されるよう利用促進を図り、広島空港の拠点性をさらに強化していく必要があること。

◆県営水道の指定管理者の選定に当たっては、将来にわたって公共が責任を持つて持続可能な運営となるよう取り組まされたいこと。

◆空き家活用に取り組む人材や市町と連携しながら、空き家バンク情報サイトを充実させ、空き家の有効活用を推進されたいこと。

【その他】  
株式会社水みらい広島の出資割合のあり方など

## 文教委員会

付託議案の審査結果

補正予算一件  
原案可決(全会一致)

### 主な質疑事項

◆県立歴史博物館への菅茶山関係資料の常設展示室の設置に当たっては、多くの県民が文化財に親しみ、理解が深まるよう展示の工夫を行うとともに、菅茶山記念館等とも連携し、相乗効果が上がるよう取り組むこと。

◆グローバルリーダー育成校の開校に向け、外部人材の採用条件の整備など教員確保策を早急に検討し、教育委員会を挙げて計画的に取り組むこと。

◆学校での働き方改革の推進に当たっては、時間外勤務の縮減など県民にわかりやすい目標値を掲げて取り組むとともに、部活動指導に係る負担軽減等のため、部活動指導員の導入に向けた準備を進める必要があること。

【その他】  
ひろしま版ネウボラの推進に当たって  
の家庭教育の役割など

## 警察・商工労働委員会

付託議案の審査結果

補正予算一件、条例案一件  
原案可決(全会一致)

### 主な質疑事項

◆プロフェッショナル人材マッチング支援事業の推進に当たっては、企業及び求職者のニーズの的確な把握や働き方改革を推進する取り組みとも連携し、優秀な人材の県内企業への定着を図る必要があること。

◆技能検定制度は本県のものづくりを振興する上で重要な制度であるため、今年十月に予定される受検手数料の軽減措置の周知と活用促進について積極的に取り組む必要があること。

◆広島中央警察署における盗難事件については、いまだに犯人の検挙に至っていないことから、一日も早い解決と再発防止策の徹底により、県警察に対する県民の信頼を回復されたいこと。

【その他】  
県内の暴力団情勢と(公財)暴力追放広島県民会議の取り組みなど

# 特別委員会を設置しました

最終日の本会議において、六つの特別委員会が設置され、委員長、副委員長及び委員が選任されました。

## 地方創生・行財政対策特別委員会 (12人)

**調査事件**  
 ●地方創生・地方分権改革の推進に関する調査の件  
 (広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証等を含む)  
 ●行政経営の質的向上及び安定的な税財政運営の確立に関する調査の件

- 委員長 渡辺典子 副委員長 沖井 純 委員 出原昌直  
 委員 高木昭夫 委員 内田 務 委員 栗原俊二  
 委員 中原好治 委員 下原康充 委員 砂原克規  
 委員 犬童英徳 委員 山崎正博 委員 平田修己

## 少子化・次世代育成対策特別委員会 (10人)

**調査事件**  
 ●仕事と暮らしの両立及び少子化対策子育て支援に関する調査の件  
 ●移住・定住の促進及び幼児期から社会人まで一貫した人材の育成に関する調査の件

- 委員長 桑木良典 副委員長 畑石頭司 委員 山下真澄  
 委員 日下美香 委員 小林秀矩 委員 宮 政利  
 委員 富永健三 委員 城戸常太 委員 山木靖雄  
 委員 檜山俊宏

## 平和推進・地域魅力向上対策特別委員会 (10人)

**調査事件**  
 ●本県を起点とした平和な国際社会の実現に関する調査の件  
 ●地域特性や資源を活用した本県の魅力の創出及び価値向上に関する調査の件

- 委員長 狭戸尾 浩 副委員長 山下智之 委員 鷹廣 純  
 委員 平本 徹 委員 石津正啓 委員 三好良治  
 委員 岩下智伸 委員 宮本新八 委員 中本隆志  
 委員 奥原信也

## 広域・国際観光振興対策特別委員会 (10人)

**調査事件**  
 ●国内外からの観光誘客の促進に関する調査の件  
 ●観光客の広域周遊 県内周遊及び観光消費の増大に関する調査の件

- 委員長 伊藤真由美 副委員長 西本博之 委員 下西幸雄  
 委員 上田泰弘 委員 福知基弘 委員 森川家忠  
 委員 金口 巖 委員 緒方直之 委員 高山博州  
 委員 児玉 浩

## 産業競争力強化対策特別委員会 (10人)

**調査事件**  
 ●イノベーションを通じた競争力の強化に関する調査の件  
 ●海外ビジネスを促進する基盤等の整備に関する調査の件

- 委員長 窪田泰久 副委員長 井原 修 委員 的場 豊  
 委員 瀧本 実 委員 宮崎康則 委員 尾熊良一  
 委員 下森宏昭 委員 安井裕典 委員 岡崎哲夫  
 委員 松浦幸男

## 社会基盤整備対策特別委員会 (10人)

**調査事件**  
 ●災害に強いまちづくりの推進に関する調査の件  
 ●県民が安心して暮らせる地域医療介護体制及び生活環境の整備に関する調査の件

- 委員長 田川寿一 副委員長 西村克典 委員 石橋林太郎  
 委員 大島昭彦 委員 佐藤一直 委員 河井案里  
 委員 東 保幸 委員 佐々木弘司 委員 辻 恒雄  
 委員 林 正夫

## 議会運営委員会 (六月二十七日選任)

- 委員長 富永健三 副委員長 岩下智伸 委員 渡辺典子  
 委員 三好良治 委員 瀧本 実 委員 尾熊良一  
 委員 西村克典 委員 狭戸尾 浩 委員 森川家忠  
 委員 日下美香 委員 宮本新八 委員 児玉 浩

## 広島県議会欧州訪問団

本県の国際平和に向けた取組をより効果的なものとするため、宇田議長をはじめ十名の議員が、欧州の国際平和に関する研究機関や自治体などを訪問し、連携の可能性などについて意見交換を行いました。



NPT運用検討会議準備委員会議長表敬の様子

各訪問先では、NPT運用検討会議における核軍縮・核不拡散に関する合意文書の採択や、政治指導者の広島への訪問を求めました。また、宇田議長と湯崎知事はバチカンでローマ法王に謁見し、法王に被爆地・広島への訪問を要請しました。

- 【日程】**平成二十九年五月一日(月)～五月七日(日)  
**【主な訪問先】**  
 ・NPT運用検討会議準備委員会議長表敬  
 ・オスロ平和研究所  
 ・オスロ市役所(市長兼市議会議長表敬)  
 ・ストックホルム国際平和研究所  
 ・ストックホルム市議会議長表敬

## 広島県議会ハワイ州友好提携二十周年記念訪問団

広島県と米国ハワイ州が友好提携を結んで二十周年を迎えたことから、宇田議長をはじめ八名の議員がホノルルで開催された記念式典に参加しました。



さらに、ハワイ島の二つの広島県人会の設立記念式典にも参加し、本県に縁のある多くの皆様と交流を深めました。

また、教育分野など青年の交流の促進について関係者と協議しました。

- 【日程】**平成二十九年五月七日(日)～五月十三日(土)  
**【主要事業】**  
 ・広島県・ハワイ州友好提携二十周年記念式典  
 ・在ハワイ州広島県人会創立五十周年記念式典  
 ・ハワイ州上院議員表敬  
 ・ハワイ州議会視察

## 地震発生時の初動訓練を実施

地震の発生に備え、本定例会から傍聴席を含む議場に防災ヘルメットを設置しました。開会に先立ち、議員や職員が実際にヘルメットを取り出して着用し、机の下に身を隠すなど地震発生時の初動対応を確認しました。

## 子供向けサイトを開設

選挙権年齢の引き下げなどを契機に、県議会ホームページに子供向けサイトを開設しました。サイト「みんなの県議会」を開設しました。そもそも県議会とは何かといった基本的なことから県議会の仕組みなどを分かりやすく説明しています。



また、クイズコーナーでは楽しみながら県議会について学ぶこともできます。

広島県議会 検索  
 ホームページ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gikai-kids>

## お知らせ

- 本会議場の団体見学**  
 本会議場の行事のない日は、本会議場の団体見学ができます。  
**【問合せ】**県議会議務局総務課  
 ○八二・五一三・四七三三
- 本会議の傍聴**  
 本会議の傍聴を希望される方は、開催日に議会棟一階の受付にお越しください。  
**【問合せ】**県議会議務局議事課  
 ○八二・五一三・四七三三
- 委員会のモニター傍聴**  
 委員会の審議状況を、議会棟一階のモニターテレビで傍聴できます。
- 点字版・音声版**  
 視覚障害者の方へ「点字版」と「音声版」テープ版(デジタル版)の「ひろしま県議会だより」を発行しています。  
**【問合せ】**県議会議務局政策調査課  
 ○八二・五一三・四七三三

この広報紙についてのご意見・ご要望をお寄せください。  
 ひろしま県議会だよりは、6月、9月、12月、2月の各定例会後に発行します。  
 あて先 〒730-8509 広島市中区基町10-52 TEL 082-513-4743  
 広島県議会議務局 政策調査課  
 FAX 082-222-9600 MAIL [gikaichousa@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:gikaichousa@pref.hiroshima.lg.jp)

インターネット中継…本会議の審議状況等をYouTubeで配信(生・録画)しています。  
 テレビ広報番組の配信…「ひろしま県議会ダイジェスト」を配信しています。  
 会議録の開覧と検索…本会議と委員会の会議録が登録されています。  
 ホームページ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gikai/> 広島県議会 検索